

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009001	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Medical English Clinic (センゲージ・ラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって学習を評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月10日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	4月17日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)		
第3回	4月24日 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)		
第4回	5月1日 (Power Words 1回目調査) 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)		
第5回	5月8日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)		
第6回	5月15日 (3STEP小テスト) 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)		
第7回	5月22日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、		
第8回	5月29日 (Power Words 2回目調査) 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)		

第9回	6月5日 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
第10回	6月12日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
第11回	6月19日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
第12回	6月26日 (3STEP小テスト) 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
第13回	7月3日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
第14回	7月10日 G-TELPテスト
第15回	7月17日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009002	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 および、ハンドアウトを適宜配布。  英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - T E L P ( 2 0 % )、E - L e a r n i n g ( 2 0 % )、授業活動・課題への積極的参加 ( 2 0 % )、期末試験 ( 4 0 % )		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。 最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	Unit1		
第3回	Unit2		
第4回	Unit3		
第5回	Unit4		
第6回	Unit5 3 S t e p小テスト		
第7回	Unit6		
第8回	Unit7		
第9回	Unit8		
第10回	Unit9		
第11回	Unit10		
第12回	Unit11 3 S t e p小テスト		

第13回	G-TELP
第14回	Unit12
第15回	Review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009003	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 C 棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	4年間の基礎となる英語力を身につける。 授業外ではインプットを重視したリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法(学習指導法)/Method	反転授業を取り入れた授業を行う。 授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト: 15%</li> <li>・期末試験: 15%</li> <li>・提出物、グループワークの成果物: 30%</li> </ul> (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・G-TELP: 20%</li> <li>・e-learning: 20%</li> </ul> (PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第3回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第4回	心配について考える プリント教材		
第5回	心配について考える プリント教材		
第6回	3-STEP小テスト1回目 心配について考える プリント教材		
第7回	発表準備		

第8回	発表
第9回	発表の振り返りと他グループの評価
第10回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第11回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第12回	3-STEP小テスト2回目 10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う
第13回	G-TELP
第14回	発表
第15回	発表の振り返りと他グループの評価 まとめ
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009004	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(M4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のCNNのニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびVocabulary Check で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル3の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。テキストのリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法でCNNを聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 CNNのテキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 テキストのリスニング問題については、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Power Up Your English with CNN News(朝日出版) 1,800円  教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。		

授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 3 Unit.1~5 3 Step First Listening
第2回	教科書 Unit 2. 専門英語語彙 (1) e-learning Power Words Level 3 Unit.6~10 3 Step First Listening
第3回	教科書 Unit 3. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第4回	教科書 Unit 4. 専門英語語彙 (3) e-learning Power Words Level 3 Unit.11~15 3 Step First Listening
第5回	教科書 Unit 5. 専門英語語彙 (4) e-learning Power Words Level 3 Unit.16~20 3 Step First Listening
第6回	教科書 Unit 6. 専門英語語彙 (5) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
第7回	教科書 Unit 7. 専門英語語彙 (6) e-learning Power Words Level 3 Unit.21~25 3 Step First Listening
第8回	教科書 Unit 8. 専門英語語彙 (7) e-learning Power Words Level 3 Unit.26~30 3 Step First Listening
第9回	教科書 Unit 9. 専門英語語彙 (8) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第10回	教科書 Unit 10. 専門英語語彙 (9) e-learning Power Words Level 3 Unit.31~35 3 Step First Listening
第11回	教科書 Unit 11. 専門英語語彙 (10) e-learning Power Words Level 3 Unit.36~40 3 Step First Listening
第12回	教科書 Unit 12. 専門英語語彙 (11) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
第13回	G-TELP 試験
第14回	教科書 Unit 13. 専門英語語彙 (12) e-learning Power Words Level 3 Unit.41~50 3 Step First Listening
第15回	教科書 Unit 14. 専門英語語彙 (13) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009005	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikedan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>大学入学時までには習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。</p> <p>「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウンの読解方法の実践指導を行う。</p> <p>「聴解力」指導については、授業中にランダムに行う小テストによって総力向上を図り、同時にコールシステムの積極的な活用を喚起する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。</p> <p>TOEIC Test で600点以上の高得点を取れるような日常的努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラピッド・リーディングの訓練を行う。内容的にはup-to-dateな話題を扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやらせよう。</p> <p>あわせて、リスニングではこれまでに修得した聴解力をさらに伸ばすために、TOEIC Test に準じた問題集でランダムに小テストを実施する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	16回目 定期試験		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Susumu Kondo et al., Caregiver: New Edition: 世界に見る医療と看護, 朝日出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末筆記試験(60%), 小テストの結果(10%)とG-Telp Test(20%)E-ラーニング(10%)など全学教育(英語)の規則に従って、評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	指定クラスの学生及び再履修学生		
学生へのメッセージ/Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>以下のおおまかな順番で授業を進める。</p> <p>第1回: 授業概要(テキストを通じた授業内容の説明)</p> <p>Unit 1 :Summer Weight Gain</p> <p>肥満問題を考える</p>		
第2回	<p>第2回:</p> <p>Unit 2 :Sugar in Danger</p> <p>摂取カロリーの問題を考える</p>		
第3回	<p>第3回:</p> <p>Unit 3 :Adult Diapers Outsell Baby Diapers</p> <p>高齢化社会の問題を考える</p>		
第4回	<p>第4回:</p> <p>Unit 4 :Medical Robots</p> <p>医療現場におけるロボットの導入を考える</p>		
第5回	<p>第5回:</p> <p>Unit 5 :Coffee Drinking Tied to Lower Risk of Suicide</p> <p>コーヒーの効鬱効果を考える</p>		

第6回	第6回：3step 小テスト（1回目） Unit 6 :How Emergency Rooms Work 救急救命室のしくみを知る
第7回	第7回： Unit 7 :Keep Your Heart Moving 脳卒中と運動との関係を知る
第8回	第8回： Unit 8 :Teens Light Up E-Cigaretts 若年喫煙の問題を考える
第9回	第9回： Unit 9 :Curing Peanut Allergies 食物アレルギーの治療法を考える
第10回	第10回： Unit 10 :Cancer and Poverty 癌と貧困の問題を考える
第11回	第11回： Unit 11 :AED AEDについて知ること
第12回	第12回：3step 小テスト（2回目） Unit 12 :Global Warming Triggers Disease 地球温暖化と病気の増加を考える
第13回	第13回：G-Telp テスト
第14回	第14回：Useful Expressions（1～6）解説 医療現場での基本的な会話表現を知ること
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009006	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B棟44		
対象学生(クラス等) / Object Student	M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます		
授業到達目標/Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語で書かれたニュース・その他の文章を理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 および。ハンドアウトを適宜配布。  英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - T E L P ( 2 0 % )、E - L e a r n i n g ( 2 0 % )、授業活動・課題への積極的参加 ( 2 0 % )、期末試験 ( 4 0 % )		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。 最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction		
第2回	Unit1		
第3回	Unit2		
第4回	Unit3		
第5回	Unit4		
第6回	Unit5 3 S t e p小テスト		
第7回	Unit6		
第8回	Unit7		
第9回	Unit8		
第10回	Unit9		
第11回	Unit10		
第12回	Unit11 3 S t e p小テスト		
第13回	G-TELP試験		

第14回	Unit12
第15回	Review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009007	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金4の授業の前(非常勤講師控室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、大学生のみなさんがキャンパスでそして日常生活の中で遭遇しそうな場面で使えるさまざまな会話表現を聞き取り、その表現を応用して情報を伝達する基礎訓練を行います。また、副教材などにより英語で表現された最新の話題を積極的に取り上げ、英語を使う面白さと意義を知ることで、学習意欲を高めていきます。		
授業到達目標/Goal	教科書から日常英会話を学び、副教材により最新の話題を取り上げることで、英語を臆せずに使えることを目指します。 具体的には、授業を受けることで(1)から(3)を到達目標とします。 (1) 音声英語の特徴、英語のアクセントとリズムについて理解し、リスニング能力を向上する。 (2) 教科書にでてくる実践ですぐに使える表現をマスターし、日常のさまざまな場面に応じて、自信を持って英語を発音し、必要な情報が伝達できるようになる。 (3) 最新の話題について英語で情報を得ることに興味を抱く。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業はテキスト、副教材(プリントを毎回配布)とパワーポイントスライドを使いながら進めていきます。予習でリスニングの穴埋めをしておき、授業では教科書の各ユニットのダイアログの中に出てくる言い回しの音声の特徴、アクセントやリズムを学びます。その上で、決められた時間内にペアワークやグループワークで実際に英語だけで話す基礎訓練を行います。大きな声で相手に伝わるように発音してみることから始め、イントネーション、リズム、間の取り方、感情のこめ方などを楽しく実践で学ぶことで、英語で表現すること、聞き取ることに慣れていきます。毎回の復習にはシャドウイング、音読とディクテーションを出します。また、副教材を用いて、生きた英語を聞き取り、必要な情報を読み取る練習もします。		
授業内容/Class outline/Con	e-learningとpower words level 3は基本的にすべて家庭学習となります。授業内でe-learningの音読を部分的に取り入れます。 予習: テキストのFirst Reading: Task A to Task Dを付属CDで聞いて、穴埋めをしておくこと。 授業では、教科書の各ユニットのPronunciation Point音声の特徴について学び、Speaking NaturallyとSecond Listeningへと進んでいきます。 復習: テキストのダイアログのシャドウイング、音読練習とディクテーションをしておくこと。 副教材で取り扱った表現方法をマスターすること。		
キーワード/Key word	リスニング、リズム、アクセント、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): "On Air" Listen and Communicate (金星堂出版) 2100円 教材: プリント教材 授業中に毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 G-TELP 20%、e-learning 20%、 定期試験50%、授業内発表と課題10%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則です。		
学生へのメッセージ/Message for students	とにかく大きな声で、失敗をおそれずに発音してみて、気持ちをこめてリズムにのって楽しく話してみよう。また、自分の興味のある話題は、積極的に英語で情報を得る挑戦をしてみよう。活気ある授業を一緒に築いていきましょう!		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション
第2回	教科書 Unit 1 Making Friends / Contraction in spoken language [短くなる音]
第3回	教科書 Unit 2 Playing Sports / Weakening of function words [弱くなる音]
第4回	教科書 Unit 3 Marriage and Families / Elision: Omission of Sounds [消える音]
第5回	教科書 Unit 4 Cooking and Eating / Analogy from Katakana words [カタカナ語 英語]
第6回	3 step 小テスト1回目 教科書 Unit 5 Part-time Jobs / Liason between words [つながる音]
第7回	教科書 Unit 6 Watching Movies / Deleted Sounds because of liason [つながって抜け落ちる音]
第8回	教科書 Unit 7 Contacting Friends / Assimilation of consonants [別の音に変わる音]
第9回	教科書 Unit 8 Living Independently / Analogy from orthography [綴りと発音]
第10回	教科書 Unit9 Clothes and Fashion / Minimal Pairs: Vowel length [母音の長さ]
第11回	教科書 Unit 10 Learning to Drive / Weak sounds at word endings [語尾に注意] 教科書 Unit 11 Volunteer work / Long vowels of diphthongs [長音?二重母音?]
第12回	3 step 小テスト2回目 Unit 12 Dating and Romance / Less familiar consonants [間違いやす子音] Unit 13 Distinguishing similar vowels [間違いやす母音]
第13回	G-TELP 試験
第14回	教科書 Unit 14 protecting the Environment / Word stress positions [語強勢・ストレス]
第15回	教科書 Unit 15 Hopes and ambitions / Sentence rhythm [英語のリズム]
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009008	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(K2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のCNNのニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびVocabulary Check で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル3の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。テキストのリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法でCNNを聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 CNNのテキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 テキストのリスニング問題については、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Power Up Your English with CNN News(朝日出版) 1,800円  教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。		

授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 3 Unit.1~5 3 Step First Listening
第2回	教科書 Unit 2. 専門英語語彙 (1) e-learning Power Words Level 3 Unit.6~10 3 Step First Listening
第3回	教科書 Unit 3. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第4回	教科書 Unit 4. 専門英語語彙 (3) e-learning Power Words Level 3 Unit.11~15 3 Step First Listening 小テスト
第5回	教科書 Unit 5. 専門英語語彙 (4) e-learning Power Words Level 3 Unit.16~20 3 Step First Listening
第6回	教科書 Unit 6. 専門英語語彙 (5) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
第7回	教科書 Unit 7. 専門英語語彙 (6) e-learning Power Words Level 3 Unit.21~25 3 Step First Listening
第8回	教科書 Unit 8. 専門英語語彙 (7) e-learning Power Words Level 3 Unit.26~30 3 Step First Listening
第9回	教科書 Unit 9. 専門英語語彙 (8) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第10回	教科書 Unit 10. 専門英語語彙 (9) e-learning Power Words Level 3 Unit.31~35 3 Step First Listening小テスト
第11回	教科書 Unit 11. 専門英語語彙 (10) e-learning Power Words Level 3 Unit.36~40 3 Step First Listening
第12回	G-TELP 試験
第13回	教科書 Unit 12. 専門英語語彙 (11) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第14回	教科書 Unit 13. 専門英語語彙 (12) e-learning Power Words Level 3 Unit.41~50 3 Step First Listening
第15回	教科書 Unit 14. 専門英語語彙 (13) e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009009	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の三大 について英語で読んでいきます。日本の文化・歴史への造詣を深めながら、英語の受診発信技能の向上を目指します。予習してきた内容に基づいて授業を進めます。英語の音の特徴を確認し、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。毎回無作為に指名しますので、当たった人は英文解釈やペアでの会話発表をしてください。		
授業到達目標/Goal	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらいます。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスニング、リーディング、音読、日本の文化・歴史		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	坂部俊行『英語で学ぶ日本三選』南雲堂 2000円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、課題(ペアでの会話発表)10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
学生へのメッセージ/Message for students	テキストには音声がついていますので、リーディング問題の時には英語の音声を意識してみましょう。内容がよくわからないときは何が分からないのかを明らかにさせてください。リスニング問題に関しては、何度も繰り返して聞いて、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	Japan's Top Three Castles(1)		
第3回	Japan's Top Three Castles(2) Japan's Top Three Festivals(1)		
第4回	3step小テスト(1) Japan's Top Three Festivals(2)		
第5回	Japan's Top Three Mountains		
第6回	Japan's Top Three Oldest Hot Springs		
第7回	Japan's Top Three Gardens		
第8回	Japan's Top Three Night Views		
第9回	Japan's Top Three Famous Foods		

第10回	3step小テスト(2) World Heritage Sites in Japan
第11回	Japan's Top Three Scenic Spots
第12回	GTELP試験
第13回	Japan's Top Three Disappointing Places
第14回	ペア発表
第15回	1回目から14回目までの授業のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009010	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	主として、英語のニュースを聞き、内容を理解して、応答できる力、つまりリーディング(内容の要約)およびリスニング(聞き取った内容についての応答)を通してコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	英文の趣旨を簡潔にまとめて要約するとともに、リーディングおよびリスニングなどの技能の習得を目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキストの英語ニュースを理解することに加えて、配布資料の要約を行います。また、発信型コミュニケーション能力の習得に必要な課題作文の練習も行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
キーワード/Key word	英文要約、リスニング、課題作文		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English through the News Media (2015 Edition) M. Takahashi, N. Itoh & R. Powell, 朝日出版社  ハンドアウト(配布資料)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - TELP (20%)、E - Learning (20%)、授業活動・課題への積極的参加(20%)、期末試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	課題は、必ず予習してくる。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	コース概要の説明		
第2回	英語要約課題(1) 配布資料		
第3回	英語要約課題(2) 配布資料		
第4回	3-STEP 小テスト(1) Text 1		
第5回	Listening Comprehension Check(1)		
第6回	Text 2 3 Step 小テスト		
第7回	Text 3		
第8回	Listening Comprehension Check (2)		
第9回	Text 4		
第10回	3-STEP 小テスト (2) Text 5		
第11回	Listening Comprehension Check (3)		
第12回	G-TELP 統一試験		
第13回	English Summary Practice Text 6		

第14回	English Essay Writing practice Text 7
第15回	Text 8 TBA
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009011	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(16:00~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話等で円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP成績結果20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望めます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	3step小テスト(1回目)、子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	3step小テスト(2回目)、『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	G-TELP実施
第13回	On an Airplane(2)
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009012	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	L3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12時 ~ 12時45分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは、教育・テクノロジー・文化など幅広いニュース素材を用いて、リーディング力、リスニング力の強化を図ります。また、ディスカッションを通し、自分の意見を述べる訓練も行います。		
授業到達目標 / Goal	ニュース英語の構成や特徴を理解し、ニュースの核心を正確に捉えることができますようにします。各トピックについて、自分の考えを伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは、ニュース英語の構成・特徴を確認し、大意を掴む訓練をします。テキストの内容のみならず、Background of the news storyを参考に、各トピックに対する自分の考えを伝える訓練をします。		
授業内容 / Class outline / Con	まずはテキストの内容を正確に理解するため、キーワードの確認をします。つづいて、キーワード、または頻出する重要単語の発音練習を行います。テキスト解釈を通し、英文の正確な理解ができていないか確認します。テキストの内容、Background of the news story、各自でトピックについて調べたうえで、自分の考えを伝える練習を行います。		
キーワード / Key word	headline, lead, body		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Open your Eyes through News in English (三修社) ¥1,800+税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	G-TELP20%、E-learning20%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
学生へのメッセージ / Message for students	日頃からニュース等を見て、世界で何が話題になっているのか注意を払うと英文理解の助けになります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 ニュース英語の構成・特徴について		
第2回	第1章: Required English from third grade eyed		
第3回	第2章: Amazon plans drone delivery of packages in less than 30 minutes		
第4回	第3章: Japanese cuisine added to UNESCO intangible heritage list		
第5回	3 step小テスト1回目 第4章: Captain of Sunken South Korean Ferry Arrested by Police		
第6回	第5章: Ruling LDP's debate on family expected to be rocky		
第7回	第6章: Japanese "Snoopy" island created by volcanic eruption		
第8回	第7章: Launch of the Epsilon rocket		

第9回	第8章 : A century on stage
第10回	第9章 : Dallas Observes 50th Anniversary of Kennedy Assassination
第11回	3 step小テスト2回目 第10章 : Parents unaware of dangers faced by children on smartphones
第12回	第11章 : Japanese universities rush to tackle cheating in wake of STAP cell controversy
第13回	G-TELP
第14回	第12章 : "Kindai" bluefin tuna set to delight taste buds in Osaka
第15回	第13章 : Pope Francis named Time's Person of the Year
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009013	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	旅行や観光の際の様々な場面での用語や言い回しを学びながら、受信発信技能の向上を目指します。予習してきた内容に基づいて授業を進めていきます。英語の音の特徴を確認し、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。毎回無作為に指名しますので、当たった人は英文解釈やペアでの会話発表をしてください。		
授業到達目標/Goal	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらいます。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスニング、リーディング、音読、旅行		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	観光英検センター『CD付ベーシック観光英語』三修社 2000円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、課題(ペアでの会話発表)10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
学生へのメッセージ/Message for students	テキストには音声がついていますので、リーディングやライティングの時にも英語の音声を意識して練習してみましょう。内容がよくつかめないときは何が分からないのかを明らかにさせてください。リスニングに関しては、何度も繰り返し聞いて、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていくことが確認できると思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	Travel(1)		
第3回	Travel(2) Job and People(1)		
第4回	3step小テスト(1) Job and People(2)		
第5回	Getting on the Plane		
第6回	At the Immigration and Customs		
第7回	At the Airport		
第8回	Hotel(Accommodations)(1)		
第9回	Hotel(Accommodations)(2)		

第10回	3step小テスト(2) Restaurant(Breakfast and Fast Food)(1)
第11回	Restaurant(Breakfast and Fast Food)(2)
第12回	GTELP試験
第13回	Sightseeing
第14回	ペア発表
第15回	1回目から14回目の授業のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009014	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 章能		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 章能		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 章能		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部1年生		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日4限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	これまでの英語力を具体的な運用力とともに高める。具体的には、日本の労働人口の95%が就く約500職種のうち約200職種の調査からわかった英語の運用能力の習得を行うことである。それは、他者への共感的理解に基づいた正確な英語理解と英語運用能力である。このことから「文学的」な英文の読みとビジネスシーンを組み合わせた授業を展開する。将来のキャリア選択、専門の授業、将来の学習計画にも結びつけられるようにする。また、教員になるには社会との関係において子どもの学力的人格的発達を考えねばならないゆえ、職場や現実社会で英語がいかに必要でいかに運用されるのかできるようにすることも重要である。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 4技能を網羅して、英語が正確に運用できる。</li> <li>2. 英語がただ使えるだけでなく、他者への共感的理解から適切な英語の理解や表現ができる。</li> <li>3. 文化的差異から他者や自己を考えた英語の運用ができる</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業を重ねるごとに英文のグレードを少しずつ上げていく。</li> <li>2. 各職種調査から英語使用の実態を動画やテキストで確認できるE-Job100のサイトを利用して、求められる英語力を確認する。E-learningも併用する。</li> <li>3. 4技能を網羅した英語力を高めていく。そのため、毎回頂上タスクを設定し、それに基づいた英文の読解やアクティビティ等を4技能満遍なく行う。グループに分けた英語による発信も行う。</li> <li>4. 常に他者のことを考えた英語運用力を意識し、実社会で他者との関係を英語で生きていける力を身につけていく。</li> <li>5. 以上のことから、「文学的」英語理解とビジネスシーンでの英語理解を交互に、且つ融合しながら英語運用を練習する。</li> </ol>		
授業内容 / Class outline / Con	正確な英語の運用力を、他者への共感的理解を基に習得する。頂上タスクは括弧内に記す。		
キーワード / Key word	頂上タスク、4技能、共感的理解、キャリア、パラグラフ、文化的差異		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材：こちらで用意したさまざまなプリントアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業小テスト40%、G-TELP試験スコア20%、課外学習のE-Learning20%、授業内外の課題に対する積極的な取組状況20%		
受講要件(履修条件) / Requirements	学則に基づく出席回数を求める。		
備考(URL) / Remarks(URL)	<a href="http://e-job-100.sakura.ne.jp/modx">http://e-job-100.sakura.ne.jp/modx</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	課題に積極的に取り組むことで、英語力を伸ばし、自分の可能性を広げる。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	グローバルizmと日本と英語について。なぜ「文学的」英語力なのか。		
第2回	英語によるさまざまな紹介1(Ice-breaking、パラグラフ構成)		
第3回	英語によるさまざまな紹介2(英会話力向上の方法と練習)		
第4回	"The gift of the magi"を読む(共感理解、言語による良好な人間関係、社会的排除の軽減)		
第5回	"The gift of the magi"を読む(会話による良好な人間関係、社会的排除の感覚の軽減)3step小テスト		
第6回	"The marriage of convenience"を読む(自己の内側から感じ考える)		

第7回	“ The marriage of convenience ” を読む（文化的差異へのまなざし、多元的解釈、イデオロギー、共感的理解、批判的志向。ディスカッション、発表）
第8回	ビジネスシーン（対人関係、ディスカッション、意見を傾聴する・読む、課題解決） 授業小テスト1
第9回	ロールプレイング（文化的差異を英語で体験する）
第10回	ポライトネス（文化的差異と英語の表現）
第11回	ポライトネス（ビジネスシーンに広げて）3step小テスト
第12回	ケーススタディ1（グローバル・ストラテジー、4P理論の理解、文化的差異と他者への共感理解を踏まえた英語での仕事
第13回	G-TELP
第14回	ケーススタディ2（発表。総合的タスク）。
第15回	エマソン、ハクスレーら。 授業小テスト2
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009015	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) / Object Student	L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	英語の4技能の訓練を通して、TOEIC550点が獲得できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con	16回目 定期試験		
キーワード/Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Choice-Skills for Academic Success. SENGAGE Learning.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(60%)、G-TELP評価点(20%)、CALL教材への積極的な取り組み状況(20%)を基準に評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 A Cultural Difference: Being on Time Scanningのスキルについて		
第2回	Changing Lifestyles and New Eating Habits Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)		
第3回	Language: Is It Always Spoken?(1) Skimming for the Main Idea		
第4回	Language: Is It Always Spoken?(2) Recognizing Sequence of Events		
第5回	Loneliness: How Can We Overcome It? Identifying Main Ideas within Paragraphs (1) 3 step 小テストの実施		
第6回	The Importance of Grandmothers Predicting のスキル		
第7回	The Reliability of Eyewitnesses Inferring のスキル		
第8回	Innocent until Proven Guilty: The Criminal Court System Identifying Main and Supporting Ideas		
第9回	Solving Crimes with Modern Technology Understanding Main Ideas (Gist)		
第10回	Ancient Artifacts and Ancient Air (1) Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)		

第11回	Ancient Artifacts and Ancient Air(2) Developing Reading Fluency (1) 3 step 小テストの実施
第12回	Medical Techonology: Saving Lives with Robotics(1) Developing Reading Fluency (2)
第13回	G-TELP テストの実施
第14回	Mars Our Neighbor in Space Developing Reading Fluency (3)
第15回	Mars Our Neighbor in Space (2) Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009016	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標/Goal	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。 英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々な人々が書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文の overlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。各章の総まとめとして、空所補充形式のリスニング問題を行い、リスニング力と共に語彙力を確認する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	語彙力、読解力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELPテスト(20%) / E-Learning [小テストを含む](20%) 予習小テスト(20%) 期末テスト(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題(教科書の練習問題)を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation 教科書販売 / 授業の進め方 / 英語構成法		
第2回	予習小テスト Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読)		
第3回	予習小テスト Ch.2: Beyond "September 11" (語彙・読解問題、音読)		
第4回	3 - Step小テスト(1) Review (1,2)		
第5回	予習小テスト Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読)		
第6回	予習小テスト Ch.4: Students' Power in the Stone Walk (語彙・読解問題、音読)		

第7回	Review (Ch. 1、2) ビデオ観賞
第8回	予習小テスト Ch. 5:Japan and My Family
第9回	予習小テスト Ch.6: The Japan that I love (語彙、読解問題、音読)
第10回	3 - Step小テスト(2) Review (5,6) ビデオ鑑賞 (Ch.7 関連ビデオ)
第11回	予習小テスト Ch.7:Paper Sculpture (語彙・読解問題、音読)
第12回	G-TELP テスト
第13回	予習小テスト Ch.8:The tour of the exhibition (語彙・読解問題、音読)
第14回	Ch.11: Prayer for Peace
第15回	授業のまとめと復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009017	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生(クラス等) / Object Student	E2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい:二種類のテキストを使います。さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、洋書を読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標/Goal	到達目標:テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	まず、英語の総合力を身に付けるプリントを解き、その後洋書を読んでいきます。必ず指定され部分を予習しておいてください。指示された内容を調べることも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
キーワード/Key word	総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Naoki Higashida 著 書名: The Reason I Jump (第一回目の授業時に教室にて販売します。1,777円位)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL 10% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってもらいたいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてもらいたいと思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回:オリエンテーション Pracatice Test 1		
第2回	第2回:復習・Practice Test 2 Reading 1回目		
第3回	第3回:復習・Practice Test 3 Reading 2回目		
第4回	第4回:復習・Practice Test 4 Reading 3回目 3step 小テスト1回目		
第5回	第5回:復習・Practice Test 5 Reading 4回目		
第6回	第6回:復習・Practice Test 6 Reading 5回目		

第7回	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
第8回	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
第9回	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
第10回	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目 3step 小テスト2回目
第11回	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目
第12回	第12回：G-TELPテスト
第13回	第13回： Reading 12回目
第14回	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
第15回	第15回：復習・総まとめ
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009018	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の三大 について英語で読んでいきます。日本の文化・歴史への造詣を深めながら、英語の受診発信技能の向上を目指します。予習してきた内容に基づいて授業を進めます。英語の音の特徴を確認し、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。毎回無作為に指名しますので、当たった人は英文解釈やペアでの会話発表をしてください。		
授業到達目標/Goal	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらいます。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスニング、リーディング、音読、日本の文化・歴史		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	坂部俊行『英語で学ぶ日本三選』南雲堂 2000円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、課題(ペアでの会話発表)10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
学生へのメッセージ/Message for students	テキストには音声がついていますので、リーディング問題の時には英語の音声を意識してみましょう。内容がよくわからないときは何が分からないのかを明らかにさせてください。リスニング問題に関しては、何度も繰り返して聞いて、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	Japan's Top Three Castles(1)		
第3回	Japan's Top Three Castles(2) Japan's Top Three Festivals(1)		
第4回	3step小テスト(1) Japan's Top Three Festivals(2)		
第5回	Japan's Top Three Mountains		
第6回	Japan's Top Three Oldest Hot Springs		
第7回	Japan's Top Three Gardens		
第8回	Japan's Top Three Night Views		
第9回	Japan's Top Three Famous Foods		

第10回	3step小テスト(2) World Heritage Sites in Japan
第11回	Japan's Top Three Scenic Spots
第12回	GTELP試験
第13回	Japan's Top Three Disappointing Places
第14回	ペア発表
第15回	1回目から14回目までの授業のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009019	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(14:20~14:30、及び16:00~/授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話等で円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP成績結果20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	3step小テスト(1回目)、子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	3step小テスト(2回目)、『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	G-TELP実施
第13回	On an Airplane(2)
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009020	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英文の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身につける。英文やダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身につけ、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、歌詞の背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>英語のフレーズと歌詞の詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことにより、英語の表現を容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えた英文を使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピティングを行うことで、スキルの定着を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。歌詞の表現を英語で覚える。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、対話形式の実践的なダイアローグについて、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアローグの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p>		
キーワード/Key word	英米の歌 / ダイアローグ / 文法と発音の強化 / 歌を通して英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『歌で学ぶ英語コミュニケーション』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learningを20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。 定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	4月 8日 導入・授業内容の説明
第2回	4月15日 UNIT 1・2
第3回	4月22日 UNIT 3
第4回	5月13日 UNIT 4 3Step小テスト 第1回目
第5回	5月20日 UNIT 5
第6回	5月27日 UNIT 6
第7回	6月 3日 UNIT 7
第8回	6月10日 UNIT 8
第9回	6月17日 UNIT 9
第10回	6月24日 UNIT 10 3Step小テスト 第2回目
第11回	7月 1日 UNIT 11
第12回	7月 8日 UNIT 12
第13回	7月15日 UNIT 13
第14回	7月22日 UNIT 14・15
第15回	7月29日 UNIT 16
第16回	8月 5日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009021	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲富 百合子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲富 百合子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲富 百合子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済(E6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、20世紀に活躍した偉人たちの偉業を紹介するテキストを使用し、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を養成することを目指します。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。		
授業内容/Class outline/Con	予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。テキストには20人の偉人たちのエッセイが収められていますので、15回の授業の中で扱う人物に関しては、以下の授業計画に示しています。 リーディングでは、状況に応じて精読と速読を使い分けていきます。英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。 リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	[Title] Messages from the 20th Century [Author(s)] 大内博 / Kai Nordyke [Publisher] 成美堂 [ISBN] 978-4-7919-4061-X *参考書等 授業中に適時紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	【教員評価分】60% < 定期試験40%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)15%、小テスト5% >、【課外学習のe-learning】20% < 3 Step CALL 10%、Power Words 10% >、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席しなければ単位は成立しません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行います。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は1700円(税別)です。 授業には必ず辞書を持参して下さい。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回授業のはじめに小テストを実施しますので、遅刻のないよう注意してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)、英語の音声変化について(プリント教材)		
第2回	Chapter 1: John F. Kennedy		
第3回	Chapter 2: Albert Einstein		
第4回	3step小テスト1回目 Chapter 3: Mother Teresa		
第5回	Chapter 5: Mohandas Gandhi		

第6回	Chapter 6: Helen Keller
第7回	Chapter 8: Chiune Sugihara
第8回	Chapter 12: Rachel Carson
第9回	Chapter 13: Nelson Mandela
第10回	3step小テスト2回目 Chapter 16: Inazou Nitobe
第11回	Chapter 18: Princess Diana
第12回	G-TELP
第13回	Chapter 20: Dalai Lama
第14回	Chapter 9: Wright Brothers
第15回	Chapter 11: Bill Gates
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009022	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	(T1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標/Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法(学習指導法)/Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	Comprehensive English		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Good Will Hunting (SHOHAKUSHA)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP : 20% 小テスト : 10% Discussion 課題 : 10% プレゼンテーション : 10% 定期試験 : 30% 課外学習の e-learning : 20% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月 9日 : イントロダクション		
第2回	4月16日 : 第1章		
第3回	4月23日 : 第2章		
第4回	4月30日 : 第3章		
第5回	5月 7日 : 第4章		
第6回	5月14日 : 第5章 / 3-step 小テスト		
第7回	5月21日 : 第6章		
第8回	5月28日 : 第7章		
第9回	6月 4日 : 第8章		
第10回	6月11日 : 第9章		
第11回	6月18日 : 第10章		
第12回	6月25日 : 第11章 / 3-step 小テスト		
第13回	7月 2日 : G-TELP		
第14回	7月 9日 : 第12章		
第15回	7月16日 : プレゼンテーション		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009023	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit1		
第3回	Listening 2, テキストUnit2		
第4回	Listening 3, テキストUnit3		
第5回	Listening 4, テキストUnit4		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit5		
第7回	Listening 5, テキストUnit6		
第8回	Listening 6, テキストUnit7		
第9回	Listening 7, テキストUnit8		
第10回	Listening 8, テキストUnit9		
第11回	Listening 9, テキストUnit10		
第12回	3Step小テスト(2), テキストUnit11		
第13回	G-TELP, テキストUnit12		
第14回	Listening 10, テキストUnit13		
第15回	まとめ, テキストUnit14		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009024	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英文の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身につける。英文やダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身につけ、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、歌詞の背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>英語のフレーズと歌詞の詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことにより、英語の表現を容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えた英文を使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピティングを行うことで、スキルの定着を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。歌詞の表現を英語で覚える。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、対話形式の実践的なダイアログについて、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアログの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p>		
キーワード/Key word	英米の歌 / ダイアログ / 文法と発音の強化 / 歌を通して英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『歌で学ぶ英語コミュニケーション』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learningを20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。 定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	4月9日	導入・授業内容の説明
第2回	4月16日	UNIT 1・2
第3回	4月23日	UNIT 3
第4回	4月30日	UNIT 4
第5回	5月7日	UNIT 5
第6回	5月14日	UNIT 6 3Step小テスト 第1回目
第7回	5月21日	UNIT 7
第8回	5月28日	UNIT 8
第9回	6月4日	UNIT 9
第10回	6月11日	UNIT 10
第11回	6月18日	UNIT 11
第12回	6月25日	UNIT 12 3Step小テスト 第2回目
第13回	7月2日	UNIT 13
第14回	7月9日	UNIT 14・15
第15回	7月16日	UNIT 16
第16回	7月30日	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009025	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(12:00~12:10、及び16:00~/授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話等で円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP成績結果20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	3step小テスト(1回目)、子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	3step小テスト(2回目)、『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	G-TELP実施
第13回	On an Airplane(2)
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009026	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生(クラス等) / Object Student	(T5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい:二種類のテキストを使います。さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、洋書を読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標/Goal	到達目標:テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	まず、英語の総合力を身に付けるプリントを解き、その後洋書を読んでいきます。必ず指定され部分を予習しておいてください。指示された内容を調べることも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
キーワード/Key word	総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Naoki Higashida 著 書名: The Reason I Jump (第一回目の授業時に教室にて販売します。1,777円位)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL 10% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってもらいたいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてもらいたいと思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回:オリエンテーション Pracatice Test 1		
第2回	第2回:復習・Practice Test 2 Reading 1回目		
第3回	第3回:復習・Practice Test 3 Reading 2回目		
第4回	第4回:復習・Practice Test 4 Reading 3回目 3step 小テスト1回目		
第5回	第5回:復習・Practice Test 5 Reading 4回目		
第6回	第6回:復習・Practice Test 6 Reading 5回目		

第7回	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
第8回	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
第9回	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
第10回	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目 3step 小テスト2回目
第11回	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目
第12回	第12回：G-TELPテスト
第13回	第13回： Reading 12回目
第14回	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
第15回	第15回：復習・総まとめ
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009027	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲富 百合子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲富 百合子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲富 百合子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学(T6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、ナショナルジオグラフィックの映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。授業のはじめに小テストを行います。各自、予習・復習をして授業に臨んでください。 予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。 リーディングでは、自然・動物と人間との関わりをテーマにした英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な知識を習得していきましょう。 リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。 テキストの構成は以下の通りです。 (1) Viewing for Introduction: そのUnitで学習する部分のストーリーの全体像をつかむ (2) Vocabulary: 日本語の意味だけでなく、英語の説明を理解することでその語句の持つニュアンスをより深く知る (3) Reading 1 & 2: 長文を読み、内容を把握したり、話の流れを理解したり、段落の概要をまとめたりする (3) Viewing for Understanding: 映像を視聴して、その内容について答える問題 (4) Dictation: 音声のみによる聴き取り問題 (5) Post-reading Exercise: 語句の練習問題や文法事項の確認問題 (6) Viewing All & Summary: ストーリー全編を視聴して、全体の内容を再確認。 (7) Critical Thinking: ストーリーが提起している問題を考える		
授業内容/Class outline/Content			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	[Title] Messages from the Globe - National Geographic Multi-media Reading Course [Author(s)] 山科美知子 / 横山三鶴 / 沖野泰子 [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-4-86312-187-4 *参考書等 授業中に適時紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	【教員評価部分】60% < 定期試験35%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)15%、小テスト10% >、【課外学習のe-learning】20% < 3 Step Call 10%、Power Words 10% >、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席しなければ単位は成立しません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行います。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2415円です。 授業には必ず辞書を持参してください。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回授業のはじめに小テストを実施しますので、遅刻のないよう注意してください。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	教科書販売、オリエンテーション（授業の進め方について説明）、英語の文章構成について（プリント教材）、音声変化の特徴について（プリント教材） テキストIntroduction
第2回	Unit 1 A Disappearing World: Part 1
第3回	Unit 2 A Disappearing World: Part 2
第4回	3step小テスト1回目 Unit 3 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 1
第5回	Unit 4 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 2
第6回	Unit 5 Cambodia Animal Rescue: Part 1
第7回	Unit 6 Cambodia Animal Rescue: Part 2
第8回	Unit 7 Orangutan Language: Part 1
第9回	Unit 8 Orangutan Language: Part 2
第10回	3step小テスト2回目 Unit 9 Cupid the Dolphin: Part 1
第11回	Unit 10 Cupid the Dolphin: Part 2
第12回	G-TELP
第13回	Unit 11 Cupid the Dolphin: Part 3
第14回	Unit 12 Saving the Pandas: Part 1
第15回	Unit 13 Saving the Pandas: Part 2
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009028	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟44		
対象学生(クラス等) / Object Student	T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	<p>各ユニットが250-350語から成る PRISM indigo をテキストに用い、世界中の興味深い話題について読む。14回の授業の初めの4回は精読を中心に、その次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の4回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせて使えるように演習を行う。</p> <p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度まとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。英音はインターネットでダウンロード出来る。)音読をする、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	PRISM indigo, Second Edition, Timothy Kiggell & Katuhiko Muto, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 1700円+税.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL 10%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業への参加等約5%。 課外学習の e-learning に関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<p>毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Batty Accents
第2回	Unit 2 Functional Foods
第3回	Unit 3 My Own Name
第4回	Unit 4 24-Hour Fitness
第5回	Unit 5 Blood Secrets
第6回	3step小テスト(15分程度) Unit 6 Virtual Cities
第7回	Unit 7 Narrow Escape
第8回	Unit 8 Chocolate Wall of China
第9回	Unit 9 Deadly Diseases
第10回	Unit 10 Culture Vulture
第11回	Unit 11 Spicy Recipes
第12回	3step小テスト(15分程度) Unit 12 Scary Story
第13回	G-TELP テスト
第14回	Unit 13 Blue Sky Thinking
第15回	Unit 14 Brain Workout Unit 15 Fast or Fuel-efficient?
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009029	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>英語を用いて様々な分野の学問に触れることで、英語を学びながら教養を深める。教養を高め、自己を磨く一助とする。「英語で」学び理解することで、自分の世界を大きく広げることへと繋げていく。</p> <p>知的興味を持って学習に臨み、リーディングとリスニングおよびダイアログの多様なタスクに取り組むことで、自然に英語の力がついてくるようになる。</p> <p>総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に文法事項に重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」考え、理解できるようになる。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>リベラル・アーツについて関心や知識を深め、また、それらを英語で理解することができる。また、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。ダイアログを学び、会話の表現を身に付け、運用することができる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>予習を充分に行ってきたうえで、問題を解き、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。様々な事物や学問に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディング・リスニング・スピーキングの能力を伸ばすことができる。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>教材の内容は、読みやすく興味深いものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての考察を行う。</p> <p>テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導する。本文の内容理解をチェックするための設問を解き、その中で語彙や文法事項、またリーディング・リスニング・スピーキングの指導と解説をする。</p> <p>また、毎回の授業で宿題を課します。</p> <p>予習が重要な意味を持ちます。あらかじめ英文を熟読し、音声を聴いて、テキストの問題を解き、入念な準備をして臨んでください。</p>		
キーワード/Key word	英語で学ぶリベラル・アーツ / 英語の各技能の向上 / ダイアログ / 教養を高める		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Knowledge Expander English for Liberal Arts 『英語で学ぶリベラル・アーツ』(上村淳子/アイリーン岩崎: 朝日出版社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。音声教材は、ホームページサイトよりダウンロードしてください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TLPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		

授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4月10日 導入・授業内容の説明
第2回	4月17日 Unit 1
第3回	4月24日 Unit 2
第4回	5月 1日 Unit 3
第5回	5月 8日 Unit 4
第6回	5月15日 Unit 5 3 Step 小テスト 第1回目
第7回	5月22日 Unit 5・6
第8回	5月29日 Unit 7
第9回	6月 5日 Unit 8
第10回	6月12日 Unit 10
第11回	6月19日 Unit 11
第12回	6月26日 Unit 12 3 Step 小テスト 第2回目
第13回	7月 3日 G-TELPポスト・テストとまとめ
第14回	7月10日 Unit 12・13
第15回	7月17日 Unit 14
第16回	7月31日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009030	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学(T9)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)アメリカ3大ネットワークのニュース番組より、世界からの多種多様なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語の特徴に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ABC World News 17 (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験60%、小テスト、出席、授業への取り組み40%) G-TELP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること(授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) 10%		
受講要件(履修条件) / Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	ABC World News 17 テレビニュース英語とは & Unit 1 (Separated at Birth:Amazing Reunion)		
第3回	ABC World News 17, Unit 1 (Separated at Birth:Amazing Reunion)		
第4回	ABC World News 17, Unit 3 ("Neighborhood Watch" in Space)		
第5回	ABC World News 17, Unit 3 ("Neighborhood Watch" in Space) & Unit 5 (Top Dog: The Winner)		
第6回	3step小テスト1回目 ABC World News 17, Unit 5 (Top Dog: The Winner)		
第7回	ABC World News 17, Unit 7 (Attention Shoppers: Changing the Labels)		
第8回	ABC World News 17, Unit 7 (Attention Shoppers: Changing the Labels) & Unit 10 (Terror on the Tracks)		
第9回	ABC World News 17, Unit 10 (Terror on the Tracks)		
第10回	ABC World News 17, Unit 11 (Rite of Passage: Big Changes in the SATs)		
第11回	ABC World News 17, Unit 11 (Rite of Passage: Big Changes in the SATs) & Unit 12 (Sleepless in America: "Short sleepers")		
第12回	3step小テスト2回目 ABC World News 17, Unit 12 (Sleepless in America: "Short sleepers")		
第13回	G-TELP		

第14回	ABC World News 17, Unit 15 (America Strong:The Climb)
第15回	ABC World News 17, Unit 15 (America Strong:The Climb) & Review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009031	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12時 ~ 12時45分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは、スーパーコンピューター、ポータブルデバイス、EV車など、エンジニアなら知っておくべき科学技術について書かれた記事を用い、リーディング力の養成を行います。また、専門用語の語彙力の養成も行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意が取れるようにします。また、理工系専攻として知っておくべき語彙100語を確実に習得します。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは、大意を取る練習をしながら速読の訓練を行います。リスニングでは、単語の音の聞き分け練習を行いながら聞き取る訓練を行います。		
授業内容 / Class outline / Con	最初に理工系専攻に必要な語彙力をリスニング等を通して強化します。 つづいて、速読による英文解釈の確認と精読による再確認をします。		
キーワード / Key word	engineering		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	GETTING TO KNOW ENGINEERING GENRES (三修社) ¥1,800 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	G-TELP20%、 e-learning20%、 授業中の発表を含む定期試験60%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず (正当な理由で) 欠席する場合は個別指導を行う。		
学生へのメッセージ / Message for students	日頃からニュースを字幕英語または英語音声で聞くと4技能向上につながります。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 速読について		
第2回	Pendulum device to reduce swaying of skyscrapers during quakes		
第3回	Experiment lets man use his mind to control another person's movements		
第4回	Researchers create "bionic ear"		
第5回	Ultra minicars take to public roads		
第6回	3 Step小テスト1回目 Japan, overseas firms battle over wearable tech business		
第7回	New surgical knife can detect cancer instantly		
第8回	Hakko Giken, university jointly develop luminescent gel		
第9回	Deep secrets of maglev Shinkansen emerging		
第10回	A new palm vein ID system creates codes for multiple services		
第11回	ISO to adopt Japan-led safety criteria for nursing-care robots		
第12回	3 Step小テスト2回目 Nissan rolls out self-driving car at Japanese electronics show		
第13回	G-TELP		
第14回	Robots are getting closer to having humanlike abilities and senses		
第15回	Nanotech scientist aspires to master "alchemy of gases"		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009032	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/10 第1回 Introduction		
第2回	4/17 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	4/24 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	5/1 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)		
第5回	5/8 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan		
第6回	5/15 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 3step 小テスト		
第7回	5/22 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)		

第8回	5/29 第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回	6/5 第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) ~6/5 PowerWords 2回目締切り
第10回	6/12 第10回 Unit 9 The Introdution of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回	6/19 第11回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回	6/26 第12回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 3step 小テスト
第13回	7/3 第13回 G-TELP
第14回	7/10 第14回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)
第15回	7/17 第15回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856 ~7/17 PowerWords 3回目締切り
第16回	7/24 第16回 Final Examination

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009033	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (F1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	生田 和也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	生田 和也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	生田 和也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikuta@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後30分に、非常勤控室か授業教室にて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの学習内容を踏まえつつ、英語のリスニングやコミュニケーションの訓練をする。また専門分野の基礎的な英語読解力を身につける。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語リスニング&コミュニケーション能力の向上。 (2) 専門分野についての基礎的英文読解力の向上。		
授業方法(学習指導法) / Method	テキストと配布資料に沿って授業を行います。2回目以降、授業には予習範囲があり、授業ははじめの小テストで予習度の確認をします。また授業ではペアワークやグループワークを通じた学習も行います。		
授業内容/Class outline/Con	テキストを用いて、リスニング&コミュニケーションを学びます。また配布プリントでは専門分野に関する内容を通して、英文読解の基礎を学びます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	On Air: Listen and Communicate / Graeme Todd / Roger Palmer / 加野まきみ 著 (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価 60% (予習度テスト 20%、試験 30%、授業態度 10%) G-TELP 20 % E-Learning 20% (Power Words 10%、3 Step 小テスト2回 10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	授業では一番最初に予習範囲のテストを行いますので、遅刻をしないように。E-Learningと合わせて、毎週しっかりと準備をしてきてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション "Getting Along" プリント教材		
第2回	小テスト "Playing to Win" プリント教材		
第3回	小テスト "A Wedding in the Family" プリント教材		
第4回	小テスト "It Tastes Good" プリント教材		
第5回	3step小テスト1回目 進度に応じたテキスト補充orプリント教材		
第6回	小テスト "Hard Work" プリント教材		
第7回	小テスト "The Movies" プリント教材		
第8回	小テスト "Living Alone" プリント教材		
第9回	小テスト "Looking Good" プリント教材		

第10回	小テスト "Drive on" プリント教材
第11回	3step小テスト2回目 進度に応じたテキスト補充orプリント教材
第12回	小テスト "The Dating Game" プリント教材
第13回	G-TELP 進度に応じたテキスト補充orプリント教材
第14回	小テスト "Sounds Great" プリント教材
第15回	小テスト "Looking Forward"
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009034	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (F2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井石 哲也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後に授業を実施している教室で受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英文法と英文読解力の基礎力養成を主体にし、これを応用して水産関連分野の英文読解を試みる。		
授業到達目標/Goal	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解できるようになる。また読解の基礎を、水産関連領域の英文読解に応用して、その読解にチャレンジする。		
授業方法(学習指導法)/Method	使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解できるようになる。また簡単なトピックについて、英語で表現できるようになる。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回~第15回は英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、5回目と11回目に3Step小テスト、13回目の授業でG-TELP(共通テスト)を実施し、結果を評価の一部にあてる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Richard Bent, Tetsuya Iseki, Reiko Iseki Cross-Cultural Views on Britain (Nan'un do,		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50点、G-TELP20点、課外学習のe-learning 20点(3step小テスト10点、Power Words 10点)、授業における発表等10%の配点とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入・テキストChapter 1:The Royal Mail		
第2回	Chapter 2:British Sports Everywhere		
第3回	Chapter 3:The Beatles Forever!		
第4回	Chapter 4:From Cradle to the Graave? 水産分野関連の英文読解(1)		
第5回	3 Step小テスト、Chapter 5:Great Novelists		
第6回	Chapter 6:Histories of Royal Families 水産分野関連の英文読解(2)		
第7回	Chapter 7:Pound or Euro?		
第8回	Chapter 8:What is the Tube? 水産分野関連の英文読解(3)		
第9回	Chapter 9:Two-Party Politics		
第10回	Chapter 10:Art Collections in Britain 水産分野関連の英文読解(4)		
第11回	3Step小テスト、Chapter 12:Are British Foods Tasty?		
第12回	水産分野関連の英文読解(5)		
第13回	G-Telp 実施日		
第14回	Chapter 14:Public School and Hogwarts		
第15回	Chapter 15:VAT and Consumption Tax		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009035	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (F3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材は、水産学部で学ぶ内容に関連した教材を授業時に配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材1		
第3回	Listening 2, プリント教材2		
第4回	Listening 3, プリント教材3		
第5回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材4		
第6回	5Listening 4, プリント教材5		
第7回	Listening 5, プリント教材6		
第8回	Listening 6, プリント教材7		
第9回	Listening 7, プリント教材8		
第10回	Listening 8, プリント教材9		
第11回	3Step小テスト(2)(約30分程度), プリント教材10		
第12回	Listening 9, プリント教材11		
第13回	G-TELP		
第14回	Listening 10, プリント教材12		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009036	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題10%、 期末テスト50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	3-STEP 小テスト(1) Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	英文要約教材(2)		
第7回	Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英語要約課題(3)		
第9回	英語要約課題(4)		
第10回	3-STEP 小テスト(2) Listening Comprehension Quiz (第3回)		
第11回	英文交渉メールの基礎と練習		
第12回	G-TELP 統一試験		
第13回	英語課題作文練習(1)		
第14回	英語課題作文練習(2)		

第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009037	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - T E L P ( 2 0 % )、E - L e a r n i n g ( 2 0 % )、授業活動・課題への積極的参加 ( 2 0 % )、期末試験 ( 4 0 % )		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit2		
第4回	unit3		
第5回	unit4 3 S t e p小テスト		
第6回	unit5		
第7回	unit6		
第8回	unit7		
第9回	unit8		
第10回	unit9		
第11回	unit10 3 S t e p小テスト		
第12回	unit11		
第13回	G-TELP試験		
第14回	unit12		
第15回	review		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009038	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	G1 再履修生の受講不可		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	4年間の基礎となる英語力を身につけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。 授業外ではインプットを重視したりリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法(学習指導法)/Method	反転授業を取り入れた授業を行う。 授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト: 15%</li> <li>・期末試験: 15%</li> <li>・提出物、グループワークの成果物: 30%</li> </ul> (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・G-TELP: 20%</li> <li>・e-learning: 20%</li> </ul> (PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)		
受講要件(履修条件)/Requirements	再履修生は受講できません。		
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第3回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第4回	心配について考える プリント教材		
第5回	3-STEP小テスト1回目 心配について考える プリント教材		
第6回	心配について考える プリント教材		
第7回	発表準備		

第8回	発表
第9回	発表の振り返りと他グループの評価
第10回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第11回	3-STEP小テスト 2回目 動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第12回	10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う
第13回	G-TELP
第14回	発表
第15回	発表の振り返りと他グループの評価 まとめ
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009039	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 12F パソコン室		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G2のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月6日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	4月13日 第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	4月20日 第3回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), Laughing will save you from going crazy.		
第4回	4月27日 第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(3), The French Paradox (5月1日にPower Words1回目締め切り)		
第5回	5月11日 3STEP小テスト 第5回 速読(phrase reading)とペアワーク(4), Don't stay away from natto.		
第6回	5月18日 第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?		
第7回	5月25日 第7回 速読(phrase reading)とペアワーク(5), Turn-taking (2)		

第8回	6月1日 第8回 速読(phrase reading)とハアワーク(6), Getting a good night sleep is a challenge. (6月5日にPower Words 2回目締め切り)
第9回	6月8日 第9回 速読(phrase reading)とハアワーク(7), Current Issues
第10回	6月15日 第10回 速読(phrase reading)とハアワーク(8), , Chocolate and its magical power.
第11回	6月22日 3STEP小テスト 第11回 速読(phrase reading)とハアワーク(9), Processed Food.
第12回	6月29日 第12回 速読(phrase reading)とハアワーク(10), Environment Health Threats.
第13回	7月6日 G-TELPテスト
第14回	7月13日 第13回 速読(phrase reading)とハアワーク(11), , Genetically modified food (7月5 17日にPower Words 2回目締め切り)
第15回	7月27日 第14回 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009040	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading, summary writing, listening		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材(1)		
第3回	Listening 2, プリント教材(2)		
第4回	Listening 3, プリント教材(3)		
第5回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(4)		
第6回	Listening 4, プリント教材(5)		
第7回	Listening 5, プリント教材(6)		
第8回	Listening 6, プリント教材(7)		
第9回	Listening 7, プリント教材(8)		
第10回	Listening 8, プリント教材(9)		
第11回	3Step小テスト(2), プリント教材(10)		
第12回	Listening 9, プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	Listening 10, プリント教材(12)		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		